

平成26年度施策評価調書

整理番号	30
評価担当課	教育部 生涯学習課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	子ども会育成連合会との事業連携と施設のネットワーク化(5-7-2)		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	7	家庭教育の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	事業の実施にはPTAや子ども会育成連合会など関係機関や団体との有機的な連携・協力を図りながら、社会参加など地域とのかかわりをもつ団体活動の奨励・援助に努め、各施設がそれぞれの分野の中心施設として機能を果たし、有機的な結びつきによる学習活動の充実・強化を推進する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	PTAや子ども会育成連合会、その他の支援協力団体と、それぞれの学校教育・社会教育施設において連携し学習活動の充実・強化を図っている。
施策の課題	① へっちゃらLAND等の事業への参加者が減少傾向にあるため、周知方法等について検討が必要である。 ② より効果的な事業とするため、開催時期や単位組織との連携にも努める。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
学校外で社会体験事業	事業の実施件数	目標値	5	5	5	
		実績値	5	5	5	
		進捗率	100%	100%	100%	
学校外で社会体験事業	事業の参加人数	目標値	160	160	160	
		実績値	70	126	81	
		進捗率	44%	79%	51%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	社会体験事業については継続して運営されており、主体は子ども会育成連合会及び生涯学習課で担っている。事業の実施に当たっては、学校教育・社会教育の各施設も連携協力しており、有機的に行われている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も、子ども会育成連合会及び各施設と連携を図りながら、取り組みを継続していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

魅力ある事業が展開されており、1次評価に相違なし。ただし、参加者拡大に向けた検証を。

8 2次評価の意見等

参加者の拡大とリーダーの育成に向けた検証を進める

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	子ども会との連携 事業	学校外での社会体験	1,100	a	b	a	a	b	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)